

# ロイロノートを体育で毎時間使い続けてきて

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

年度末の体育・保健体育ネットワーク研究会のファイナルラウンドで、2021年の6月からずっと授業で使い続けているロイロノートに関することをポスター発表しました。(右図)

そこで参加された先生からの質問で、「メリットは分かりましたが、デメリットがあったら教えてもらえませんか?」といった質問があったのでここで自分なりに整理してみます。

＜タブレット端末を活用する際のデメリットとその対処法等＞

①子どもたちがタブレット端末の操作に慣れていないと、授業のテンポが悪くなる。

**対処法**

授業で新たに教える操作方法は、欲張らずに増やしていくのがいいような気がします。

②機器のため不具合も起こる。

(例：Wi-Fiに繋がらないタブレット端末、何かの原因でロイロノートをログアウトしてしまったタブレット端末、バッテリーを充電し忘れなど)

**対処法**

日田市は体育館にもルーターが設置されている。私の授業には必ずT2の先生や支援員の先生もいるため、トラブルがあった時は個別の対応をお願いします。一人で授業する場合はトラブルが起きないように念入りに授業準備するようにしています。



体育館のルーター

③体育の授業だけタブレット端末を活用する学年や学級は、体育の授業のたびに保管庫に取りに行き、授業後に保管庫に直すというように手間と時間を要している。

**今後に期待**

文科省も「児童生徒自身が『文房具』として自由な発想で活用できるように」と明言しているので、いつかは子どもたちで朝保管庫にタブレット端末を取りに行き、下校前にタブレット端末を保管庫に直すというようになる日が来ることを願っています。急ぎません。

九州体育・保健体育ネットワーク研究会 2022ファイナル in 福岡  
授業支援ツール(ロイロノート)の導入で変わったこと  
日田市立高瀬小学校 体育専科教員 岩崎 敬

日田市には昨年3月に一人一台のタブレット端末が配布された。私も子どもたちも6月から積極的に授業支援ツールのロイロノートを体育や保健の授業で使い始め、その変化についてまとめてみた。

	今までの岩崎	ロイロノート導入後
ペーパーレス化と 在校等時間の減少	<p>労力と時間が</p> <p>毎時間印刷、添削 それぞれでやりがいもありましたが</p>	<p>学校での超勤時間が 1:59/日→1:25/日へ短縮</p> <p>用紙代も0円</p> <p>用紙代、印刷時間も無し 添削、提示資料や動画の準備も学校内で可</p>
子どもの考えや技の出来栄を 授業時間内で可視化	<p>授業のまともも今までは目立つ子中心で、苦手しない子の考えはなかなか見えにくかったが...</p> <p>入力、送信</p> <p>テキストで提出</p> <p>記述量増</p>	<p>観時に可視化</p> <p>動画で提出</p> <p>観時は、誰に守り人がいないように動けたら動けなかったりした子の体に乗けたらいいなと先生の視線はそこを意識しながらやっていたと思います。</p> <p>今ではかなり、授業時間内に一人ひとりの成果やまがりが見えるように</p>
容量無制限による児童と授業者の デジタルポートフォリオ化	<p>入力作業も</p> <p>授業者のノート履歴 (動画・写真・テキスト・PDF) 個人の提出履歴</p> <p>紙媒体やデジタルカメラで撮ったものを教務必修やパソコンに記録していましたが</p>	<p>全てがオールインワンに</p> <p>学期末評価にも活用</p> <p>授業の履歴をコピー&amp;ペーストしながら指摘したことのポートフォリオ化 (全てクラウド保存)</p> <p>子どもたちも学習してきたことのポートフォリオ化 (全てクラウド保存)</p>

＜振り返り＞  
子どもたちが少しずつタブレット端末を扱えるようになった昨年6月、思い切って学習カードを日田市が導入したロイロノートに変えてみた。現段階でもロイロノートを使いこなしているとは言いきれないが、今までタブレット端末のカメラ機能、遅延再生機能等に属していた自分の授業が大きく変化した。今後ITは、授業者の活用スキルとそれに対する子どもたちの活用スキルの向上で、さらに「わかる」「できる」「楽しい」体育授業へ改善していくように感じている。

岩崎流 ロイロノート活用法

④授業者もタブレット端末の操作に慣れておく必要があるのか。



スタンス

私は8年前からタブレット端末を授業に取り入れています。それでもアプリや機能等の改善は目まぐるしく、子どもたちと一緒に使い方を覚えながら授業で活用しています。操作方法も含め、子どもたちと「共に学ぶ」という意識でとりあえず使ってみるぐらいの意識で使ってみてはどうでしょうか。

⑤授業者は、授業のどこでタブレット端末を使うのか、事前に授業案を練っておいた方がよいか。



スタンス

少しタブレット端末に慣れてきたら、子どもたちにとってデジタルとアナログのどちらが効果的な学びになるかを、事前に整理しておけるとよいでしょう。タブレット端末を使うことは目的ではなく手段なので、このことを肝に銘じながら授業をデザインすることが大切ではないでしょうか。

⑥タブレット端末を授業に関係ないことに使う子がないとは言いきれない。



スタンス

テンポのよくない授業や子どもの必然感に迫れていない授業にオフタスク行動がみられるように、学習外従事の一つにタブレット端末を使うことが出てくると思われます。そのためタブレット端末を使わない、取り上げるだけでは何一つ前に進みません。子どもたちとタブレット端末の使用規定を一緒に考えて作っていくことが大切です。また私たちも教育情報を駆使しながら、魅力ある授業の創造に努めることが求められています。

岩崎先生この一年かん体育の勉強を教えてくださいありがとうございました。僕は、シユートゲームが楽しかったです。

岩さき先生はいつもゲームのしかたをくわしくおしえてくれてありがとうございました。おかげでよくわかりました。

私は、最後の体育でしたが、楽しくできたし、協力などが、できたので良かったです。岩崎先生との思い出は忘れたいです。体育が楽しくできてよかったです。

今日は最後の試合でもあり、最後の体育でもあったけど、チームの人と協力して、楽しんで出来ました。そして、グリーン賞をとって、大会では2位という成績を納められたので、良かったです。最後に、岩崎先生の授業は普通の体育ではなく、コロナ禍の中でも楽しく行えるように工夫されていて今までやってきた体育以上に楽しく出来ました。他にも出し物や運動会などいろいろなことを提案したり手伝ってくれてありがとうございました。中学に行っても岩崎先生に体育などの授業、行事を通して教えてもらったことを忘れずにいろいろなことに生かしていきます。

最後に。年度末の最後の体育授業の際に、今年はタブレット端末でお礼を記述して送ってくれていた子が各学年数人いました。これも去年までなかったことです。タブレット端末の活用を始めて、子どもたちと多くのコミュニケーションが取れるようになったことを表している一例でもあります。

今の私にとって、一人一台のタブレット端末は体育授業に欠かせないものになっています。